

議会だより

2024
NO. 52

令和6年
8月1日発行

議員が編集した、まんのう町民と議会をつなぐ広報誌



今回の定例会



歓迎光臨
ようこそまんのう町へ

— 台湾・国立屏東大学訪問団 —

新たな構成で始動

議長・副議長あいさつ	2
第1回臨時会・6月定例会	4
委員会報告	10
9人が町の考えを問う 一般質問	13



8月バージョン
まんテンちゃん

まんのう町議会
ホームページ

住みやすい町づくりを目指して

<https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>

令和6年第1回臨時会（4月23日開催）にて、議長・副議長が新たに選出されました。また、各常任委員会の委員長・副委員長および委員も新たに選任されました。

議長あいさつ



議長
大西 樹

この度、令和6年第1回臨時会におきまして、第8代まんのう町議会議長に就任致しました。誠に身に余る光栄であると共に、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

まんのう町を取り巻く環境は、毎年変化しております。少子高齢化や高騰する物価への対応、災害に対する備え等、重要な政策課題が山積しております。

「安心と活力を」と銘打ち、町民生活に寄り添い、町民の皆様が安心・安全を実感できる町政運営を進めてまいります。また、議員が自由に闊達に品格ある議論を活発に交わせる環境づくりに努めてまいります。

私たち議会は、町民の皆様から選ばれたということを肝に銘じ、多様化する住民のニーズの変化を的確に把握し、町執行部と共に連携してまいります。

今後とも議会の活動に対しまして、一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ



副議長
川西 米希子

令和6年4月23日に開催の第1回臨時会におきまして副議長に就任し、責任の重さとともに決意を新たにしているところでございます。

議長を補佐して円滑で公平な議会運営に努めるとともに、さらに活力ある信頼される町議会、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりを目指し邁進してまいります。

今後とも、議会に対しまして町民の皆様のお暖かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな構成で始動

まんのう町議会常任委員会名簿 他

総務常任委員会



委員長
常包 恵
副委員長
真鍋泰二郎
委員
大西 豊
竹林 昌秀
大西 樹

教育民生常任委員会



委員長
石崎 保彦
副委員長
白川 正樹
委員
松下 一美
白川 皆男
京兼 愛子

建設経済常任委員会



委員長
鈴木 崇容
副委員長
合田 正夫
委員
川原 茂行
三好 郁雄
川西米希子

議会運営委員会



委員長
松下 一美
副委員長
真鍋泰二郎
委員
川原 茂行
常包 恵
鈴木 崇容
石崎 保彦

仲多度南部消防組合

議員
大西 樹
常包 恵

中讃広域行政事務組合

議員
大西 樹
川西米希子
竹林 昌秀

議会広報特別委員会



委員長
白川 正樹
副委員長
真鍋泰二郎
委員
川西米希子
竹林 昌秀
鈴木 崇容
石崎 保彦

監査委員



議会選出
白川 皆男

香川県後期高齢者医療広域連合

議員
石崎 保彦

香川県広域水道企業団議員

議員
鈴木 崇容

議員会



会長
京兼 愛子

令和6年6月定例会

開催期間

6月3日～6月17日（15日間）

一般会計補正予算(案)(第1号)、まんのう町土地開発公社の解散および土地開発基金条例の廃止、業務委託契約の締結(まんのう町公開型GIS・統合型GIS構築事業業務)、工事請負契約の締結(令和6年度満濃農村環境改善センター解体工事)、財産の取得(資源ゴミ収集運搬自動車1台)など議案7件を可決し、1件(令和5年度まんのう町繰越明許費繰越計算書について)の報告を受けた。

令和6年第1回臨時会

開催期間

4月23日

専決処分2件の承認と1議案を可決し、まんのう町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。まんのう町議会の議長・副議長を選挙し監査委員(議会選出監査委員)を選出、各議員の所属委員会と議会選出の各種委員等の選出を行った。

令和6年

第1回臨時会

専決処分の承認

〔議案第1号〕

町税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律が令和6年3月30日に交付され、同年4月1日より施行されたことに伴い、町税条例を改正する必要があるため、同年3月31日に町税条例の一部を改正したとの報告を受けた。



〔議案第2号〕

町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律が令和6年3月30日に交付され、

一部改正

同年4月1日より施行されたことに伴い、町国民健康保険税条例を改正する必要があるため、同年3月31日に町国民健康保険税条例の一部を改正したとの報告を受けた。



即決案件

〔議案第3号〕

町手数料条例の一部改正

令和6年度から、現在は町の地域包括支援センターで作成している介護予防ケアプランを居宅介護支援事業者でも作成できるようになった。事業者は町に対して新規の場合は指定申請を行い、更新の場合は更新申請を行う必要があり、これに伴う手数料を新規が2万円、更新が1万円と定めた。



〔議案第4号〕

町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

固定資産評価審査委員選任に同意した。

- 公文 森 勝輔 氏
- 中通 増田 道子 氏
- 新目 見間 照史 氏

〔任期〕令和6年5月13日から

令和9年5月12日まで



〔選挙〕

議長・副議長の選挙

◇議長



- 大西 樹 8票
- 三好 郁雄 6票
- 白川 正樹 1票

◇副議長



- 川西米希子 8票
- 大西 豊 6票
- 京兼 愛子 1票



監査委員選任の同意

◇議会選出

- 白川 皆男



令和6年

6月定例会

報告案件

【報告第1号】

令和5年度町繰越明許費
繰越計算書

令和6年度に繰り越す事業と予算について報告があった。一般会計における翌年度繰越額の合計は5億4061万4千円であり、財源内訳は国庫補助金などの未収入特定財源合計が4億5612万5千円、一般財源が8448万9千円との説明を受けた。

※繰越明許費

歳出予算の経費のうち、その性質上または歳入歳出予算成立後の事由に基づいて、年度内にその支出が終わらない見込みのものについて、翌年度に繰り越して使用できるようにしたもの。

即決案件

【議案第5号】

財産の取得

資源ゴミ収集運搬自動車（2tリフト付き）1台購入することとした。

〈取得金額〉 金990万円

〈取得の相手方〉

まんのう町炭所西

滝下モータース

店主 滝下 武良



新しい車両に替わります



付託案件

建設経済常任委員会

【議案第4号】

工事請負契約の締結
（令和6年度 満濃農村環境
改善センター解体工事）

〈契約金額〉

金1億1330万円

〈契約の相手方〉

枝園建設株式会社

代表取締役 枝園 裕子

主な質疑と答弁

▼入札業者

【委員】 入札業者が2社だが、執行部は何社程、参加予定を考えたのか。

【執行部】 参加条件を満たしている業者数は8社あったが、2社しか入札参加業者はなかった。

▼住民周知

【委員】 工事の着手前に、近隣住民や自治会への説明などについて配慮はしているのか。

【執行部】 工事請負業者が、近隣住民には直接説明し、近隣自治会には回覧で周知を予定している。



解体工事が始まります

総務常任委員会

【議案第1号】

町個人番号の利用及び特定
個人情報提供に関する条
例の一部改正

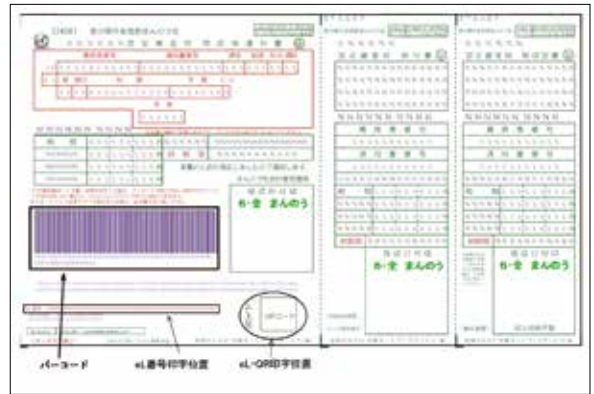
上位法の改正により、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に係る規定が見直され、本条例で引用している箇所が廃止されたことから、条文を整理する改正を行った。

主な質疑と答弁

▼税の収納事務

【委員】 収納日が反映されるまでにタイムラグがあることを認識しているのか。

【執行部】 認識している。コンビニでの納付の場合、2週間ほど確認できないことがある。



コンビニ対応の納付書

関連があるため一括審議

【議案第2号】

町土地開発基金条例の廃止

【議案第6号】

※町土地開発公社の解散

社会情勢の変化等により、土地の価格が安定している現在、公共施設等の用地を先行取得する必要性が薄れてきている。また、平成23年度以降、土地開発公社による新

規土地の取得はなく、その存在意義は極めて低くなっている。

今後、用地取得が必要な場合は、十分な調査を実施し、町議会の議決後に、町が直接用地取得を行うことを基本とし、計画的に事業を実施することで対応可能であると判断し、条例の廃止と公社解散の議決を行った。

※土地開発公社

高度成長期に地価が高騰し、公共施設の用地取得が困難になり、安定的に公共用地を確保するために法律に基づいて全国で設立された。

主な質疑と答弁

▼今後の会計処理

【委員】 本町では、今後も工業導入を進めていくとしているが、公社解散後の会計処理はどうなるのか。工業団地は、売却までに時間がかかるため、資金管理と資産の流れが分かる会計、財務諸表が必要ではないか。

【執行部】 一般会計での処理となるが、特別会計での運用も考えら

れる。本町では、平成26年度から一般会計や特別会計などと連結した財務諸表を作成し公開している。

▼民間からの借り入れ

【委員】 特別会計では、民間からの借り入れができないのではないのか。

【執行部】 現在の特別会計において、民間金融機関から一時的に、長期でも借り入れを行った事例がある。また、町が起債を発行して、一般会計から特別会計に繰り出すことも考えられる。

▼基金残高等の行方

【委員】 基金の廃止と公社の解散をした場合、公社の定期預金や基金残高等(約3億円)はどうするか。

【執行部】 すでに解散もしくは、解散手続き中の市町の事例を参考にすると共に、県とも協議をする。また、町議会とも相談しつつ、より良い活用方法をお示しする。



【議案第3号】

業務委託契約の締結

※1
〔町公開型GIS・統合型GIS構築事業業務〕

避難所、ハザードマップ、災害時の情報、地形図、道路情報など、位置に関するデータを総合的に管理・加工し、インターネット上で住民の方も利用できるように公開するための業務委託契約である。

〔契約方法〕

随意契約

※2
（指名型プロポーザル）

〔契約金額〕

金1億2650万円

〔契約の相手方〕

高松市寿町

アジア航測株式会社

四国支店

支店長

竹内

隆

主な質疑と答弁

▼利用できる情報

【委員】道路情報・下水道情報・ハザードマップなど、12項目の情報が公開予定であるが、今後項目の追加はあるのか。また、どの程度の期間でデータの更新作業が行われるのか。

【執行部】情報の追加は、利用者の要望に応じて研究する。データの更新作業は、できるだけ早く行うよう対応する。



※1：GIS

地理情報システム（GIS：Geographic Information System）は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

※2：プロポーザル

複数の事業者から企画提案を提出してもらい、入札価格だけでなく、提案内容や技術力、実績などを総合的に評価し、最も適した提案を行った者を契約の候補者として選定する方式。



ハザードマップ等を視覚的に表示(イメージ)

〔議案第7号〕

令和6年度 町一般会計
補正予算(案) (第1号)

定額減税に係る町民税の減額、非課税世帯等への特別給付金事業、エコツアーリズム関連補助金、町消防団第14分団(宮田・佐文)の屯所用地購入などを行うため、歳入歳出それぞれ2億2639万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ119億3639万9千円とした。

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分を事前に審査し、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生委員会関係》

▼非課税世帯等特別給付金

〔委員〕18歳までの子どもに対し、一人5万円の給付は、子どもが就

職していても対象になるのか。

〔執行部〕住民税が非課税または均等割のみの世帯に属する18歳までであれば、対象となる。

▼ICT支援員

〔委員〕ICT支援員の雇用期間はいつまでか。

〔執行部〕会計年度任用職員のため、1年毎の更新とはなるが、継続しての雇用を考えている。

▼二宮忠八飛行館

〔委員〕年間の入館者数は何名か。

〔執行部〕令和5年度の入館者数は2265名であった。



夢は大空 玉虫型飛行器

▼学校給食

〔委員〕食材の価格高騰に対する措置は考えているのか。

〔執行部〕現時点では考えていないが、今後の価格動向を注視しながら対応する。

《建設経済委員会関係》

▼地域観光発見事業

〔委員〕観光庁の事業である地域観光発見事業の実施に伴い、エコツアーリズム関連補助金を計上しているが、今後の実施見込み時期はいつごろか。また、国への申請が不採択となった場合はどうするか。

〔執行部〕採択されれば、今年度中に試験的にツアーを実施して効果測定を行う。また、不採択となった場合、次年度以降も引き続き申請をし、エコツアーリズム推進事業を支援する。

《総務委員会関係》

▼職員の負担

〔委員〕年度初めは、前年度の繰り越し事業と新年度の事業が重なる上に、本年度は国の物価高騰対策の給付金事業もあるが、職員の負担が過重となっていないか。

〔執行部〕会計年度任用職員を1名採用したが、職員1名では対応できないので、今後、国に対して、事務費など必要経費の増額を要望いく。



バードウォッチング(大川山)



教育民生常任委員会 報告

●現地調査

5月20日、竣工した四条公民館増築工事の現地調査を行った。



地域コミュニティの拠点(四条公民館)

●資源ごみ

一 月別収支の推移

【委員】月別収支の推移について増減の原因は何か。

【住民生活課長】アルミスチール等の資源ごみは、キ

●地域支援包括センター 災害発生時の対応

【委員】地域包括支援センターとしては、災害時にどのような対応をするのか。

【福祉保険課長】災害発生時を想定したカードゲームの避難所HUG(ハグ)を使って、実際に避難所に来る人々をイメージし、避難所の疑似体験を通して、避難所運営や運営の研修を実施した。研修を通し必要が浮き彫りになった、様々なケースへの対応に備え、今後課題に取り組みたい。

●被災地支援

一 能登半島地震被災地への派遣

【委員】能登半島地震の被災地に町として派遣は行っていないのか。

【総務課長】環境省の依頼を受け、防災士の総務課職員が輪島市へ倒壊家屋の申請受付支援として1名、また、社会福祉協議会の女性職員1名が輪島市のボランティアセンターで4月8日か

ら8日間支援に参加しており、今後も支援を予定している。

●民具展示室

一 展示品の入れ替えと説明

【委員】民具展示室の展示の入れ替えは行っているのか。小学生が利用した際の民具の説明はどうなっているのか。

【生涯学習課長】民具については、開設当時は、1500点程度であったが、その後の寄贈等を含め、現在は1700点となっている。

●中学校の新制服

一 購入時の補助を

【委員】現在物価が高騰しているが、制服の購入に対する補助等はないのか。無ければ検討して欲しい。

【学校教育課長】令和7年度より導入の新しい制服は、現行制服と同等の価格帯になるように配慮しており、購入補助は考えていない。



冬制服



来春からの新制服

夏制服

建設経済常任委員会 報告

●現地調査

5月24日 琴南地区造田の
コウノトリ飛来地、満濃地
区四条のひまわり育成の現
地調査を行った。

●コウノトリ

繁殖し 増え続けた時は

【委員】コウノトリがこれ
から、かなり繁殖し増えた
場合、町としてどのように



幸せを運ぶコウノトリ

考えているのか。

【農林課長】本町としては、
コウノトリの繁殖を進める
のではなく、コウノトリと
共存できる自然環境を持つ
ことが大切と考えている。

●ひまわりの成長

作付は順調か

【委員】ひまわりの作付け
状況はどうなっているの
か。現在でも作付けができ
ていない所があるのか。

【農林課長】作付けは全て
終わっている。

●木育の体験

木と子ども ふれあい

【委員】木育関係の中で、体
験回数と回数が増えている
が、どのような事をしてい
るのか、また対象者は、こ
ども園と関係があるのか。

【農林課長】木育では、木
工教室や自然観察を行って
いる。人数と回数が増えて
いるのは、令和5年度から
町内の小学校、こども園を
対象に、また年に4回、親

子を対象とした行事を追加
したためである。

●空き家の現状

早急な手立ては

【委員】空き家対策につい
て、地域おこし協力が関
わる事で、どのような成果
があり、また本町の相談内
容として、どのような事
があるのか。

【地域振興課長】地域おこ
し協力隊の活動自体は、今、
現在、空き家の状況がどう
いう事をホームページに
載せて空き家の相談がある
部分を聞いていくことを始

めている。成果については、
現在、各公民館活動等に
向いて相談を受けている。

●ひまわりポン酢

新商品の付加価値

【委員】ひまわりポン酢の
売り上げが当初の目標本数
と比べて順調なのか。

【地域振興課長】ひまわり
ポン酢は、1回の製造が
1000本単位で生産して
いる。また、販売、売り上
げは順調に延びているた
め、新たに1000本を追
加で作る予定である。



人気沸騰！ ひまわりポン酢

総務常任委員会 報告

●町職員数

■増えた内容は

【委員】本年の職員数の動向は、どうなっているのか。
 【総務課長】本年は19名増えている。

部活動の地域移行や障害児支援が多いため、こども園や教育関係に多く配置している。

正規職員は退職6名、採用7名である。同規模自治体との比較を研究する。

●緊急走行訓練

■実施の検討は

【委員】消防車の緊急走行訓練をどうするのか。

【総務課長】琴平町に習って、分団長会で検討する。



緊急走行訓練(琴平町消防団)

※カスタマーハラスメント

■町の対応は

【委員】行政窓口におけるカスタマーハラスメントにどう対応するのか。

【総務課長】毅然と対応する。防犯等対応の警察OBの職員による声かけや警察への通報もある。

※カスタマーハラスメント(カスハラ)

顧客が企業等に対して理不尽なクレーム・言動をすること。具体的には、事実無根の要求や法的根拠のない要求、暴力的・侮辱的な方法による要求など。



カスハラ対策で名札は名字だけに

※償却資産の伸び

■増加の要因は

【委員】固定資産税の償却資産分が伸びている要因は何か。

【総務課長】今後、調査を行う。

※償却資産

土地及び家屋以外の事業の用に供することができる資産で、その事業のために用いている構築物、機械、工具、器具、備品等の固定資産を償却資産といい、土地・家屋と同じように固定資産税が課税される。

●高度情報基盤

■今後の懸念は

【委員】高度情報基盤の老朽化の懸念はないのか。

【企画政策課長】中讃テレビの加入世帯の増減は少ない。

●仲南福祉バス

■運用改善と耐用年数

【委員】福祉バス運行の課題にどう対応するのか。

【仲南支所長】実績の無いバス停の廃止、路線統合を本年6月から予定している。また、運行バスが購入から20年を越えているので、今後の管理計画を協議する。

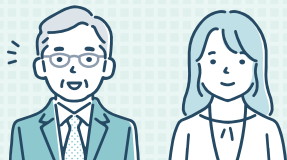
家屋内外に設置している機器が耐用年数を超えているので、約7500世帯分の更新が課題である。



安心・安全な運行を

議員が町の考えを問う!

町議会
ホームページ /



一般質問は、議員が町政全般について
現状や方針を問うものです。
これに対し、町は今後の事業の進め方や
問題解決のための考え方を答えます。



6月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ(議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>) に掲載していますので、ご覧ください。

川西 米希子	○アピアランスケア助成制度	14p
真鍋 泰二郎	○みんなで楽しく健康に ～マイチャレかがわの推進～	14p
竹林 昌秀	○町長の「地域振興」観を問う ○本町の事務事業の法的特性に応じた運用を求める ○次年度は合併二十周年である。これを迎える意義を町長はどう捉えているか	15p
京兼 愛子	○迫る南海トラフ地震に向けて、耐震化と電気火災対策の取組を	15p
鈴木 崇容	○防災の活動と役割 ○町、奨学金制度の拡大	16p
石崎 保彦	○「まんのう町を自立可能自治体へ」住民と共に創り上げる	16p
白川 正樹	○防災井戸	17p
常包 恵	○住宅団地区域内道路は町管理に ○町が計画的に道路建設を	17p
川原 茂行	○農林業振興	18p

がん治療支援

問

アピアランス(外見)ケア
助成制度の創設を



川西 米希子
議員

治療にともなう
一助となるように

答

令和6年度の早い時期に
助成事業を実施したいと考えている

付き帽子・
その他の帽
子・人工乳
房・胸部補
正下着など
の助成制度
ができれば、
癌治療に
伴う町民



香川県のホームページ

川西 がん 癌治療に伴う外見
(アピアランス)の変化
は、治療や就労等の意欲
を低下させ、社会生活
をおくる上でも精神的な負
担になるためアピアラン
スケアは現在の癌治療に
は欠かせないものとなっ
ている。

2人に1人が癌に罹患
する時代である。年齢制
限や性別制限を設けない
ウィッグ(かつら)・髪の毛
付き帽子・
その他の帽
子・人工乳
房・胸部補
正下着など
の助成制度
ができれば、
癌治療に
伴う町民

町長 癌治療に伴う心理
的苦痛の軽減や、その人
らしい生活を送るための
一助となるよう、早急に
助成制度の整備を行い事
業を実施したいと考えて
いる。県のアピアランス
助成制度については、健
康増進課の窓口にはラシ
を設置している。癌の相
談については、香川県の
ホームページを紹介して
いる。

の日常生活支援や経済的
負担軽減などの大きな支
えになると思う。また、香
川県のアピアランスケア
助成制度の周知と本町の
相談体制の取り組みは。

「マイチャレかがわ」の推進

問

他事業との連携や
独自の特典が必要では



真鍋 泰二郎
議員

みんなで楽しく
健康に

答

町民の健康づくり推進のため、関係各所と協議を進める



真鍋 「マイチャレかがわ」
の推進は、町民の健康増進
や社会参加を促すだけで
なく、国保・介護保険の保
険料の抑制や特定健診の
受診率向上に効果がある
と思う。また、小学生以上
の香川県民が対象である
ことから、幅広い世代が参
加でき、健康増進に留まら
ず、さまざまな分野での活
用が考えられる。

町長 町独自の特典につ
いては、参加者数の増加、
町民の健康づくり推進の
ために、近隣市町の動向を
ふまえて協議していく。

町長 現在、他事業と連
携させた事業はないが、関
係各課と「マイチャレかが
わ」を活用した事業の取り
組みができないか協議す
る。また、保険料を抑制す
るためには、県下を挙げて
進めなければ効果が薄い
と思うので、県と各市町が
連携を取りながら、官民協
働で進めていけるように、
県での会合等で提案する。

また、サービス協力店の増
加に向けて、町商工会への
事業周知をする。

合併二十周年の意義

問

成果検証と課題発見に



たけばやし まさひで
竹林 昌秀
議員

未来を展望する
合併二十周年事業に

答

生活の質の向上と一体感醸成

竹林 何を指すのか。
町長 持続可能な将来ビジョンを立てて、地域振興策による効果的な地域運営を図る。地域経済や財政の数値を指標で分析する。満足度や参加度を住民の声で検証したい。
竹林 記念事業の好機ではないのか。
町長 活性化やコミュニティへの帰属感を養う。地域魅力の発揮や資源の活用を目指す。観光や産業振興に役立てたい。
竹林 教育はどうするのか。
教育長 思考力、創造力とコミュニケーション能力を

竹林 何を指すのか。
町長 持続可能な将来ビジョンを立てて、地域振興策による効果的な地域運営を図る。地域経済や財政の数値を指標で分析する。満足度や参加度を住民の声で検証したい。
竹林 記念事業の好機ではないのか。
町長 活性化やコミュニティへの帰属感を養う。地域魅力の発揮や資源の活用を目指す。観光や産業振興に役立てたい。
竹林 教育はどうするのか。
教育長 思考力、創造力とコミュニケーション能力を

重視して、内面を磨く教育を展開する。スポーツ少年団とか生涯スポーツの活性化を図る。
竹林 町政要覧の編集と二十年史の発刊をどうする。
町長 政府統計や行政実績の推移をグラフ化して、合併効果を明らかにする適切な時機だ。行政の透明性を高めて、信頼を得たい。将来への方向性の提案ともなる。合併二十年史は、歴史を振り返り、成長と発展を記録する重要なプロジェクトである。情報収集して、研究して参る。



旧町の町史

迫る南海トラフ地震

問

耐震化率の低さから倒壊の危機、助成制度の啓発を



きょうかね あいこ
京兼 愛子
議員

地震から大切な命を守ろう

答

耐震対策の普及啓発及び制度利用促進に努める



京兼 1981年以前の旧耐震基準の住宅は要注意。「防災・減災社会を重視すると関心がある一方で我が町は、減災意識の低さから耐震率が県下で一番低くなっている。更に制度利用の啓発を強化してほしい。地震から国民の命を守る為に。

町長 制度利用の相談は建設土地改良課窓口にて常時行っている。また、本制度の有効活用のため、広報への掲載や防災訓練とあわせた啓発活動、耐震無料相談などを実施している。今後ともさらなる啓発のため、個別訪問も計画している。
京兼 地震火災対策として感震ブレイカーの設置費用助成の実施を求めらる。
町長 地震時における電気火災の防止に有効であると考えられるので補助制度導入について検討したい。



防災の活動と役割

問

耐震診断の推進を
どうしていくのか



すずき たかひろ
鈴木 崇容
議員

災害に強い
防災住宅に

答

戸別訪問により進めていく

鈴木 近年、繰り返し返される地震災害、家屋の倒壊により甚大な被害を受ける方が多くいる。大きな地震がきても倒壊しない、つぶれない家を作るため住宅耐震診断を行い、災害に強い『防災住宅』に変えなければいけない。町は今以上に啓発と推進をして、住民に安全の呼びかけをしていくのか。



町長 広報・周知の観点から、従来の広報や相談会に加え、戸別訪問による啓発活動を展開していく。

町、奨学金制度の拡大

教育長 予算枠の拡大については、財源の確保が一番の課題であり、これから他の奨学金制度と総合的に捉えながら検討していく。

問

奨学金の予算枠、
人数を拡大できないか

答

財源の確保と課題を検討する



豊かなまちづくり

問

児童生徒のまちづくり参加と
担い手としての協働は



いしざき やすひこ
石崎 保彦
議員

町を自立可能な
自治体へ

答

「町の幸福論・コミュニティデザインを考える」のグループ討論や研究を授業で実施

石崎 ①今回、まんのう町は「消滅可能性自治体」を免れたが、将来の存続可能性を考える場合、高松市や丸亀市を中核都市とし、中讃地域圏の各自治体がそれぞれの特色を生かした地域開発による地域との共存が必要ではないか。

町長 ①ご指摘のように広域的取り組みは必要。近隣2市3町で構成される「瀬戸内中讃定住自立圏構想」において、瀬戸内の未来を拓くつながらる中讃を目指し、各政策分野において、細分化された分野・施策の取り組みを行っている。

②2月採用の1名が専従的に活動し、現状把握と情報収集に取り組んでいる。この職員を中心的存在として育成し、その後の事業展開により、増員も検討し、活動範囲を広げる。

③小学校6年生における「町の未来を描こう」の授業で「町の幸福論・コミュニティデザインを考える」についてグループ討論や研究を行い、意見発表を実施している。次世代を担う児童生徒には様々な機会をとらえて、まちづくりに関心を持つよう工夫し参画して貰い、将来も住民となることを願い、鋭意取り組む。

防災井戸

問

防災井戸の研究、設置の計画は

答

研究し、設置に向け検討する



白川 正樹 議員

飲料水以外の水の確保は



生活用水は手押しポンプで

白川 災害で水道が長期の断水になった場合に備え洗濯やトイレの洗浄など、飲み水以外の生活用水を供給する防災井戸の設置をしてはどうか。近所の人と一緒に手押しポンプを使う場合には、設置する費用の一部を補助する考えはないか。また、

町長 井戸水は飲料水として利用できないが、生活用水として使用出来るし、高齢者や子どもでも簡単に水を汲み上げることが出来る。災害時に町民生活への影響を最小限にとどめるため防災井戸の設置に向け検討する。



分譲住宅団地内道路

問

壊れるのは数十年先、その時の修繕が

答

町に寄附受け入れるが、管理は利用者で



つねかね めぐみ 常包 恵 議員

移住・定住者の将来不安を少なくして

常包 1000㎡以上の開発は都市計画法の許可が必要で、開発区域内の道路は町に帰属となっている。年間何件の申請があり、開発道路の幅はどのくらいか。

町長 年間5件前後で、四条地区が約半分だ。昨年から都市計画法に基づき町に寄附いただいた。農道水路と同様に所有者は町だが、管理は申請者(利用者)にお願いしている。

害復旧が遅れるのではないかと、費用も高額になり町の補助はあるのだろうか等の心配の声がある。町に移住・定住し住み続けることを決断していただいた方々の将来不安を少なくするために、町道として維持管理してほしい。

農林業振興

問

農業、林業の未来は

答

適正に農地を管理し、林業振興と共に将来につなげる



かわはら しげゆき
川原 茂行
議員

担い手確保が重要



農業者座談会

川原 農業者に対し、ほ場整備事業の推進と助成金を今よりも上げ農業に携わる担い手確保を願う。また、森林組合の助成金も上げ林業従事者の担い手不足対策を願う。

町長 地域農業の課題解決に必要な施策として、大型機械の導入や農業経営の規模拡大、WCSなどの持続可能な農業の促進、産地の特色を生かした農産物のブランド化がある。『農業に関する地域計画』の農業者座談会で、ほ場整備に関しても根気よく粘り強く進めて行く。林業関係も多くの課題を抱えており、一度に解決できる方策はないが、地道に取り組む及び森林資源の状況を把握し、担い手対策に取り組む。

課題を抱えており、一度に解決できる方策はないが、地道に取り組む及び森林資源の状況を把握し、担い手対策に取り組む。

町議会を傍聴してみよう

町議会は、町民の皆さんの意思を行政に反映させる機関です。会議当日、受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。受付は、町役場4階議会事務局窓口で行います。お気軽にお越しください。

6月定例会
傍聴合計人数 11名

傍聴にお越しいただきありがとうございます。

次回の定例会は
9月に開催予定です。

会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ ☎ 0877-73-0109

定例会は年に4回開催します

令和6年6月定例会の流れ

- 5/21 定例会告示・議案配布
- 5/31 議会運営委員会
- 6/3 開会・議案の説明・即決議案の採決
- 6/4.5 一般質問
- 6/6 付託議案の審査
(教育民生常任委員会)
- 6/7 付託議案の審査
(建設経済常任委員会)
- 6/12 付託議案の審査
(総務常任委員会)
- 6/14 議会運営委員会
- 6/17 付託議案の討論・採決・閉会

5/21

議員はどんなことをしているの?

定例会告示・議案配布

町長が町議会に提案する「町のルール」「町のお金のつかい方」などのひとつひとつを「議案」といいます。



5/31

議会運営委員会

定例会の日程・議案の即決と付託・付託する常任委員会を決めます。

6/3

開会・議案の説明・採決

議案の内容説明と質疑を行い即決議案の討論・採決を行います。

関連頁 P5

6/4

6/5

一般質問

発言は町長・教育長の答弁をふくめ90分以内がルールです。うち議員の発言時間は30分以内です。

一般質問を行うかどうかは各議員の自由です
自分でテーマを決めて行います



関連頁 P13~P18

6/6

6/7

6/12

付託議案の審査

付託をうけた常任委員会でより詳しく審査し、委員会での可・否を決定します。必要があれば現場調査も行います。

関連頁 P6~P9

5/20

5/24

5/28

委員会報告

本町には3つの常任委員会があります。

- ・教育民生常任委員会(教育・厚生等)
- ・建設経済常任委員会(農林業・建設等)
- ・総務常任委員会(税務・防災等)

毎回の定例会前に所管事務調査を行います。

関連頁 P10~P12

6/17

討論・採決・閉会

委員会での可・否を報告します(委員長報告)。付託議案の討論・採決を全議員で行い、議会として最終の可・否を決定します。

可(賛成)・否(反対)を多数決で定めることを「採決」といいます





香川県
まんのう町

議会だより

52

令和6年8月1日発行
2024.8 No.52



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

プラチナブルー

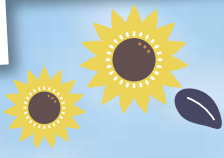


名勝・満濃池



夏の思い出

満開・ひまわり畑



さぬきの名水



清流・三霞洞溪谷

あとがき

委員長 白川 正樹

新体制になって初めての議会だよりです。皆様に届くころには夏本番になっていくでしょう。お体には十分に気を使い、暑さに負けずお過ごしください。今回も今まで同様、編集委員一同、皆様に良くわかり親しみをもっていただけるよう編集しております。皆様のご意見ご感想をお気軽にお寄せください。



議会広報特別委員会

- 〈委員長〉白川 正樹
- 〈副委員長〉真鍋 泰二郎
- 〈委員〉川西 米希子
- 〈委員〉竹林 昌秀
- 〈委員〉鈴木 崇彦
- 〈委員〉石崎 保彦

皆様のご意見をお聞かせください。mail : gikai@town.manno.lg.jp

発行責任者：まんのう町議会議員 大西 樹
編集：まんのう町議会広報特別委員会 TEL: 0877-73-0109
住所：香川県多度郡まんのう町吉野下430
印刷：株式会社 弘栄社